

兵庫ユニットセンター・エコチル調査にご参加いただいている皆さまへ

兵庫医科大学エコチル調査兵庫ユニットセンターでは、以下の研究を実施しています。

この研究は、「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」で得られた情報の記録を用いて実施する研究です。このような研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる参加者さんのお一人おひとりから改めて直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加を拒否できる機会を保障することとされています。

この研究に関するお問い合わせ、またご自身の試料・情報が利用されることをご了承いただけない場合は研究対象としませんので、以下の問い合わせ先にお申し出ください。その場合でも何ら不利益を生じることはありません。

1．研究課題名

小児期の喘息・アレルギー及び生活習慣病の発症に及ぼす環境要因についての研究
(倫理審査受付番号：3193)

2．研究の目的と意義

近年、アレルギー疾患や生活習慣病が増加傾向にあり、ライフスタイルの変化が大きな要因であると考えられていますが、大気汚染をはじめとする環境因子の関与も指摘されています。大気汚染の健康影響の機序として、生体における酸化ストレスの関与が示唆されています。酸化ストレスは呼吸器・代謝系疾患の病態と関わっており、小児でも動脈硬化と酸化ストレスとの関連が見出されています。

本研究は、エコチル調査の学童期検査（小学2年生）に参加されたお子さんを対象に採血、採尿等を行い、アレルギー疾患及び生活習慣病と環境要因との関係を明らかにすることを目的としています。大気汚染をはじめとする環境因子とお子さんの健康との関係が明らかになれば、将来の疾病予防につながる科学的な根拠となることが期待できます。

3．研究の方法

小学2年生の学童期検査にご参加いただいた際に採取し、ご了解をいただいて保存している血清及び尿を用いて、酸化ストレスに関する検査（活性酸素代謝物及び抗酸化能の測定）を実施します。また、血液の一部は国立研究開発法人国立環境研究所に提供し、**重金属、有機フッ素化合物（PFAS）、残留性有機汚染物質の分析を行います。**

4．個人情報の取り扱い

解析に際して、個人情報はすべて符号によって加工された記録のみを使用し、個人が特定できる情報は使用しません。結果を公表する時は、統計学的に処理・解析された結果のみとし、個人の結果が公表されることはありません。なお、個人を特定できる情報は、施錠された場所で厳重に管理し、本研究には一切使用しません。

5．研究期間

2019年4月24日から**2028**年3月31日まで

6．研究機関

兵庫医科大学エコチル調査兵庫ユニットセンター

7．問合せ先

兵庫医科大学 エコチル調査兵庫ユニットセンター

研究責任者 **島 正之（看護学部特命教授）**

電話番号: 0798-45-6566、FAX: 0798-45-6567